



2008～2009年度RI会長 李東建



東京赤坂ロータリークラブ

No.1042 / 2009.4.24

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ週報

「夢にむかって、楽しくロータリー」

2008～2009年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 村山公士 会長

●本日の例会 / 2009年4月24日 第1066回 例会

卓 話:『世界金融不況下における日本の選択
～いま政治に何を期待すべきか～』

前東京大学総長 現学習院大学教授
佐々木 毅 氏

— ●先週報告 / 2009年4月17日 第1065回 例会 —

第5回クラブフォーラム

卓 話:『クラブの財政問題について』

親睦活動委員会: (鶴間委員)

4月14日(火)麻布さんとの親睦ゴルフのご報告です。団体戦は、なんと1位～5位迄すべて麻布さんが独占されました。残念でした。次回は頑張りましょう!



西澤次年度幹事:

次年度委員会候補へのお願い。「次年度副委員長及び委員候補リストを事務局松尾さんへメールしてください。忙しいところ恐縮です。」



慶事披露:

誕生日祝 / 入澤頼二(4月9日)



出席報告: (順不同・敬称略)

会員52名 / 出席28名・欠席24名 (出席規定免除者6名)

東京赤坂RC・東京麻布RC合同親睦ゴルフ開催 「団体戦麻布 RC に完敗」

4月14日赤坂 RC と麻布 RC その恒例の親睦ゴルフ会が行われました。

会場は橋本会員が理事の日本カントリークラブ(埼玉県越生町)でした。当日は大雨が予想されておりましたが、参加者の日頃の行いのせいか、穏やかな春の曇り空で、まずまずのゴルフ日和でした。



成績の方は、今回は一軍を出してくれと言われたくらい散々な結果で、上位を麻布 RC に独占され、団体戦や個人戦の商品の殆どは麻布に占有されてしまいましたが、唯一ニアピンの3ホールを赤坂 RC で取れたのが救いでした。

プレー及びパーティは、終始和やかな雰囲気で行われ、次回開催を待ち望む声も聞かれたほど楽しいものでした。幹事の鶴間さん、尾上さんご苦労様でした。(内田記)

米山奨学生のプロフィール

当クラブにて米山奨学生として、私がカウンセラー役を引き受ける事になりましたイラン人女子学生のシェリニ、ソマイエ (SHERINI, SOMAYEH) さんを紹介致します。



彼女は現在26才で、国立大学法人東京農工大学に在籍しています。専攻は情報工学です。

大学卒業後は、更に同大学の修士課程への進学を目指しています。現在の研究テーマは「考古学者を支援する古代木簡の解説システム」で、将来、人が歴史の理解を深められるような仕事に就きたいとの事です。4月13日に行われたオリエンテーションで、彼女に逢いましたが、向学心に燃えており、性格も大変明るく闊達で、好印象を得ました。

例会への出席は、金曜日の昼間は授業があるので難しいとの事でした。理事会の承認を経て、6月26日の打上げ会に来てもらうことにしたいと思っております。その節は、皆様彼女に気軽に話掛けてあげてください。(庄司記)



4月17日

11件 23,000円 / 本年度累計 1,091,000円
多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

村山公士 / 先日の赤坂・麻布合同ゴルフコンペではお世話になりました。本日のクラブフォーラム皆様、よろしくお願い致します。清水寛 / 先週、桜も散って夏近しと思ったら、今日は冬のような寒さ、皆様カゼなど引かないで下さい。岩上義明 / 火曜日の麻布 RC とのゴルフ対抗戦でボロ負けいたしました。申し訳ありませんでした。次回は雪辱します。長谷川弘志 / 麻布との合同コンペ、参加した皆さんお疲れ様でした。足を引っ張ってごめんなさい。石井謙次 / 岩上さん、ニコニコご苦労様。先週家内がオーチャードホールに出演しました。小林博茂 / 間もなくGWです。予定が無いので仕事でもするか……。土屋東一 / 岩上さん、ニコニコご苦労様です。西澤民夫 / 4月14日のコンペは参加できず済みませんでした。静岡でのセミナーは大雨でした。竹本孝三郎 / 皆様、ご無沙汰いたしております。力をいただきにまいりました。柴本芳郎 / 昨日16日は、横浜みなとみらい大ホールで開催された横浜開港150周年記念国際シニア合唱祭に私が所属する「男のコーラス、ドックウッド」が出演、中国・台湾・韓国および北海道から沖縄までの45団体中第2位を獲得しました。入澤頼二 / 柴本さん、コーラス、ドックウッド横浜開港150周年記念国際シニア合唱祭45団体中第2位、横浜市長賞おめでとうございます。又誕生日ありがとうございます。

第2回クラブフォーラム

日時 2009年3月17日(金) 例会後 13:10 ~ 14:30
場所 ANA インターコンチネンタルホテル 地下1階「オーロラ」
テーマ 「クラブの財政問題について」
出席者 村山、吉岡、岩上、武下、鶴間、大日方、庄司、飯島、内田、荒木、松永、橋本、柴本、長谷川(弘)、吉田、入澤、尾関、西澤(民)、四分一、清水

1. 会長挨拶要旨

本日は、活発な意見交換していただきたく、クラブ協議会ではなくフォーラムとしました。

この時期にこのような議論を行わなければならないのは、近年クラブの財政状況が極めて厳しい状態にあることによります。今後クラブの運営費として、会費以外にも追加的な負担が必要になる心配があること、そしてその方策を検討しなければなりません。これを機会に、これまでクラブ運営に精通されていなかった方にもクラブの財政についてぜひご認識をいただき、会計の仕組みについても理解をしていただきたいと思います。

会員数に対する収支のシミュレーションによると、現在の環境下では、一般会計が黒字になるのは会員数が60数人以上です。一般会計が赤字の時には、基金会計から補填していますが、本来、基金会計は入会金を元に、周年行事や特定の目的のためにストックしておくもので、望ましい使い方とはいえません。

現状のまま会員数が50~60人程度で推移し、毎年数人程度の会員増強で、会場等に関しても同じとすると、一般会計の赤字を補うため基金会計が減少してしまい、最後には底をついてしまう恐れがあります。以下のような方策、あるいはそれらの組み合わせを考えて、回避することが必要です。

①経費を極度に切り詰め、場合によっては会場を変えるなどの厳しい選択もして、収支を図る ②10人(250万円)程度の新会員の入会を何が何でも達成する ③別途会費に相当するものを集める

ご検討をよろしくお願いいたします。

2. 自由討議

飯島会計からクラブの会計の仕組みと財政状況の説明があり、一般会計の収入:会費収入では支出をカバーできない現状、入会金の会計である基金会計から毎年一般会計に繰り入れしている状況と資金会計の残高自体が枯渇してきて危機的であることが説明された。

そのあと歴代会計というか荒木年度に『クラブ中長期会計問題研究会』が持たれ、座長を務められた入沢会員から説明。クラブに寄付してもらおう、贈与してもらおうには? ということで検討した。会員が亡くなったときの遺贈(またはこれにかわるもの)を制度化しようかと検討したが、税法上贈与税や相続税で配慮されないのが難しい、との話があった。

上記研究会にも参加しており、荒木年度の会計を担当した松永会員からはロータリーは1年単位の担当なのでやっと理解したら1年終っていた、という感じで、したがって予算作成もそれまでの継続を中心にしてしまうので革新的なことがやりにくい、との発言。自分が会計を担当した年度は創立20周年で、記念行事等で収益も出て乗り切

れた。また新会員の紹介が出来ないメンバーとしては心苦しく、入会金相当額を寄付するような制度があると心が休まる、との話があった。

荒木会員からは単年度での対策は難しいので3年くらいの健全化対策をすべきではとの話。

長谷川弘志会員からは、委員会経費は削りたくないが、収入が限られているのであれば、一般諸経費の中で削減の努力をすべきではないか? ただし分担金、負担金等は削れないのでそれ以外のところでしょうが、委員会経費にはそれなりの予算が欲しいし、それがないとロータリーの魅力がなくなる、との話。

大日方会員からは予算は単年度で考えて単年度でカバーすべき。基金会計からの一般会計への繰り入れは当年の基金会計収入の3/4と言う意味で蓄積された基金会計の3/4ではない、との話。

柴本会員からは、柴本年度で基金会計から一般会計に多額の繰り入れがあるようだがこの年度は入会者10名、退会者3名純増7名という史上最も純増が多かった年度です、との話。加えて事務所の共同利用とか合同例会を行い、人数不足をカバーする努力も必要では、との話しも。

吉田会員からは財政健全化については継続してやってらよいのではとの意見。

尾関会員からまず、自分が選んだクラブであるから自分で色々検討して努力すべきである。例会場の変更も検討すべきだし、昼食もコース料理の必要もなく安く済ませることも検討すべきである。

武下会員からは節約できることは多いのではないかと、皆出席とか誕生祝も金を掛けずにすることも出来るし、どうしても駄目なら1万円ずつ2回くらい出してもらおうとか・・・

鶴間会員、単年度でバランス取るのが当然で、削れるものと削れないものがある。

庄司会員、委員会経費には削減可能なものがたくさんある。

岩上会員、ロータリーのメンバーなんだから思い切って会費の値上げもよいのでは?

四分一会員、次年度の会長として、皆さんの意見は聞いたので参考にさせて頂いていく。

内田会員、年度ごとに締めてやるべき。ただ質はおとしたくないが。

最後に吉岡副会長から赤坂と同時期に出来た中央ロータリークラブとつい最近話し合ったが現在会員240名くらい、毎年2桁の増加があるので基金会計も潤沢、ということ。会員の増加は必要なこと。皆様の意見を早く反映させて財政健全化の努力をしていきたい、との締め言葉。

次週2009年5月1日(金)
例会は、休会となります。

●次回予告/2009年5月8日 第1067回 例会

卓話予定:

『テナントビルにおけるCO₂ 22%削減の仕組み』

株式会社 黒龍堂 貸しビル事業部 課長
間中 昭司 氏